

春のしょくぶつ



ホトケノザ (2月下旬～4月中旬)

兵庫県立宍馬富士公園で2月下旬～5月中旬までに開花が見られる植物（一部植栽された植物を含む）を紹介しています。

文中の、見られる場所の番号は、公園地図（トップページからダウンロードできます）に示された番号におおよそ対応しています。各植物の開花時期は年によって変動しますので、表示の時期に見られないことがあります。



オオイヌノフグリ

見られる場所・時期：1・39・42・各所、2月下旬～4月下旬

畑や空地、道端によくあるオオバコ科の草本。花は太陽の光が当たるとよく開く。花弁は大ききの違う4枚からなり、きれいな青色で、「星の瞳」という別名がある。ヨーロッパ原産。



ヒメオドリコソウ

見られる場所・時期：1・39・41・各所、2月下旬～4月下旬

道端、空地、畑などに生えるシソ科の草本。対生についた葉は上部では暗紫色をおびる。上部の葉のわきから外側に向かって赤紫色の唇形花を咲かせる。ヨーロッパ原産。



ハコベ (コハコベ)

見られる場所・時期：1・41・各所、3月上旬～5月上旬

畑、道端、空地などで地面をはうように広がるナデシコ科の草本。白い花弁は2つに深く切れ込み、10弁に見える。茎が紫がかったものをコハコベという。春の七草のひとつ。



ナズナ

見られる場所・時期：パークセンター前・1. 3月中旬～4月中旬

畑、道端、空地などに生えるナデシコ科の草本。十字形に4枚の白い花弁をもつ小さな花を多数つける。実が三味線のばちに似ていることからベンベングサとも呼ばれる。春の七草のひとつ。



ヒサカキ

見られる場所・時期：2・5・35・39・林の生態園. 3月中旬～4月上旬

やや乾いた山地の林にはえるモッコク科の小高木。ふつうは雄花と雌花が別々の木につく。花にはガスのような独特の臭気がある。



オランダミミナグサ

見られる場所・時期：1・39・各所. 3月上旬～5月上旬

畑、荒地、道端などにふつうに生えるナデシコ科の草本。葉は毛が多く、ふわふわしている。花弁は先が2裂で、閉じていることが多く、がく片よりやや長く突き出る。ヨーロッパ原産。



アセビ

見られる場所・時期：林の生態園・23・33・56. 3月中旬～4月中旬

やや乾いた山地の林に生えるツツジ科の低木。花色は白が基本だが、薄紅色のものもある。有毒植物で、鹿などの野生動物がたべないので、林内で繁茂することがある。



イロハモミジ

見られる場所・時期：31・9・55. 3月下旬～4月中旬

山野に生えるムクロジ科カエデ属の落葉高木。秋の紅葉の代表とされ、寺社、庭園などによく植えられる。早春の若葉の芽生えと同時に、枝先に暗紫色の花を下垂してつける。



ウリカエデ

見られる場所・時期：37・19・24・26. 3月下旬～4月中旬

丘陵地の林に生えるムクロジ科カエデ属の落葉小高木。樹皮は緑色に黒い縦の筋が入る。カエデの仲間だが、葉はほとんど裂けずモミジ葉にならない。



クロモジ

見られる場所・時期：9・34・82. 4月上旬～下旬

低山の林内に生えるクスノキ科の落葉低木。雌雄異株。枝は暗緑色で黒いまだら模様がある。枝・葉とも強い芳香がある。枝は和菓子の高級楊枝の材料に用いられる。



コバノミツバツツジ

見られる場所・時期：2・3・27・5. 4月上旬～下旬

日当たりのよい丘陵地に生えるツツジ科の落葉低木。関西では最もよく見られるミツバツツジの仲間。ふつう葉に先立って開花するが、葉と同時に咲くものもある。



タンポポの仲間 見られる場所・時期 : 38・21・10・47. 4月上旬～5月中旬
公園内にはセイヨウタンポポとカンサイタンポポがある。セイヨウは頭花が大きく、裏側の緑色の部分(総苞片)が反り返るが、カンサイは反り返らないので区別できる。



スミレの仲間 見られる場所・時期 : 37・34・24・21. 4月中旬～5月上旬
有馬富士公園に自生するスミレの仲間は、スミレ、アリアケスミレ、シハイズミレ、タチツボスミレや、花期がやや遅いツボスミレがある。花の色や葉の形、茎があるかないか、などから区別できる。



コナラ(花) 見られる場所・時期 : 39・1・2・26・10・各所. 4月上旬～下旬
山野の雑木林を構成する代表的なブナ科の落葉高木。春、若葉が広がると同時に黄褐色の花が咲く。雄花は尾状に垂れ下がり、雌花(秋にどんぐりになる)は上部の葉腋につく。



アケビの仲間 見られる場所・時期 : 38・25・44. 4月中旬～下旬
つる性の落葉低木。公園内には葉が5枚に分かれたアケビと3枚に分かれたミツバアケビがあり、花の色がちがう。秋には大きな実となり、中の白い果肉が甘くて食べられる。



ミヤマガマズミ

見られる場所・時期：築山広場・37. 4月中旬～5月上旬

山地の林内に生える落葉低木。小さな白い花が多数ドーム状に集まってつき、清楚で美しい。秋に鮮やかな赤色で大粒の実をつける。似た仲間にガマズミ、コバノガマズミがある。



ウワミズザクラ

見られる場所・時期：40・9・31・37. 4月中旬～5月上旬

山野に自生するバラ科の落葉高木。葉が出たあと、今年の枝先に多数の小さな白い花が長さ10cm前後の穂状に集まって咲き、雄しべが長く突き出てブラシのようにみえる。



カラスノエンドウ

見られる場所・時期：1・38・39・40. 4月下旬～5月中旬

野原や道端、土手などいたるところに生えるマメ科の草本。葉は8～16枚が羽状についた複葉で、先は巻きひげになる。小型のスズメノエンドウとしばしば混生する。地中海沿岸原産。



サギゴケ(ムラサキサギゴケ)

見られる場所・時期：28. 4月下旬～5月上旬

日当たりのよい湿った草地や田の畦などに、這うように広がって生える草本。花が白色のものがあり鷺の姿に見立てて「サギ」、地面に広がるさまを「コケ」として名がついた。



ハルジオン

見られる場所・時期：1・38・37. 4月下旬～5月中旬

道端や空地にはえるキク科の草本。ヒメジョオンとよく似ているが、ハルジオンの方が花びらの幅が細く、蕾が下向きに垂れ、茎の中に空洞があること等で区別できる。北アメリカ原産。



キュウリグサ

見られる場所・時期：1・38・40. 4月下旬～5月中旬

道端や空き地に生えるムラサキ科の草本。花は径2～3mmと、道端で咲いていても見落とすほど小さいが、淡青紫色のかわいい花。名は、葉をもむとキュウリの匂いがすることから。



フジ

見られる場所・時期：35・44. 4月下旬～5月上旬

日本固有のマメ科のつる性落葉樹で、低山地や平地の林縁、林内、崖などにみられる。花序は長く垂れさがり、1mにも伸びることがある。公園や庭園に観賞用の藤棚がつけられる。



コメツブツメクサ (4月下旬～5月中旬)

キッピー山の生き物図鑑 春のしょくぶつ

制作・撮影 高橋 晃

発行 三田市有馬富士自然学習センター

2024年3月28日

〒669-1313 三田市福島 1091-2

2025年1月12日 改訂